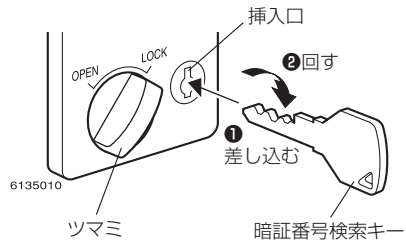


2.ダイヤル錠タイプの使いかた

⑤ 暗証番号検索キー(別売)の使いかた

暗証番号を忘れてしまったために解錠できないときは、暗証番号検索キーで検索することができます。

1.暗証番号検索キーを、図のようにキー挿入口に差し込んで右に止まるまで(約45°)回してください。

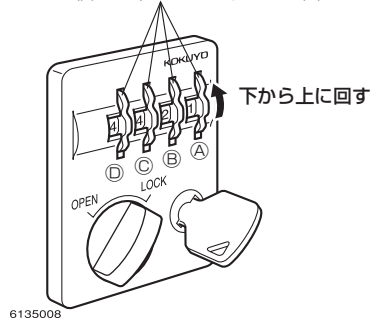


2.ダイヤルを、右から順(A→D)に1個ずつ下から上にゆっくり回してください。各列の数字が暗証番号になると、ダイヤルは止まります。

〈ご注意〉

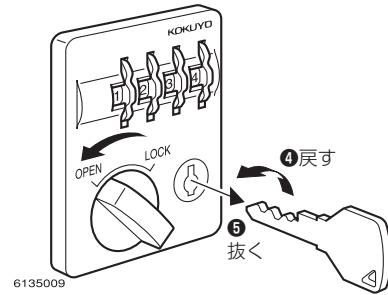
強い力でダイヤルを回さないでください。破損することがあります。

③ダイヤルを右から順(A→D)に1個ずつ下から上にゆっくり回す



3.キーを戻して、抜き取ってください。

4.ツマミを「OPEN」位置に回してください。これで扉は解錠されます。



〈ご注意〉

- 暗証番号検索キーの管理には、十分注意してください。
- ツマミに無理な力を加えて回さないでください。ツマミが破損する原因になります。

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <http://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

お客様相談室 ☎0120-201-594

受付時間：9時～17時(土日祝日・年末年始・夏期休業中を除く)

④

1511130012BKH

KOKUYO

LKロッカー

開閉表示錠タイプ ダイヤル錠タイプ

鍵の使いかた

〈ご注意〉

- 扉を開けたままで、鍵を施錠位置にして、閉めないでください。鍵がかかってしまったり、施錠装置が破損する原因になります。
- 鍵に無理な力を加えて回さないでください。鍵が破損する原因になります。
- 施錠・解錠した後は、必ずキーを抜いてから扉を開閉してください。
- シリンダー錠の鍵穴に、油や粘度のある液体を入れないでください。誤動作の原因になる場合があります。
- スペアキーは、施錠する本体の中には入れないでください。万一の紛失に備えて、必ず別の所に保管してください。
- 鍵を紛失したときは、鍵番号を確認の上、お買い上げの販売店へ合い鍵の作成をご注文ください。鍵番号は、鍵穴の周辺に刻印されています。

1.開閉表示錠タイプの使いかた

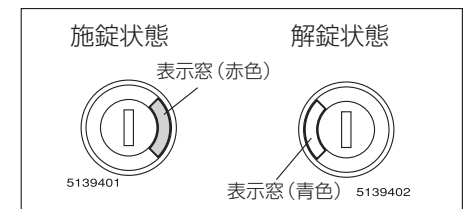
鍵の状態(かけた・かけていない)を、鍵穴の表示窓で色表示します。

〈鍵のかけかた(施錠)〉

鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに180°回すと表示窓が赤色になり、鍵がかかります。

〈鍵の開けかた(解錠)〉

鍵穴にキーを差し込み、時計回りに180°回すと表示窓が青色になり、鍵が開きます。



①

2.ダイヤル錠タイプの使いかた

① 暗証番号の設定方法について

この商品には、2通りの暗証番号設定方法があります。用途に合わせて選んでください。各扉裏面のスリットで設定できます。

※出荷時は、暗証番号を0000で「FIX」に設定されています。

「FIX」(固定) …任意で決めた1つの暗証番号でのみ、扉の施錠・解錠ができます。設定方法を変えないと、暗証番号の変更はできません。

「FREE SET」…施錠時に暗証番号を任意で(自由変換) 変更することができます。

② 扉の施錠(閉めかた)

操作部のダイヤル数字で、4桁の任意の暗証番号が設定できます。

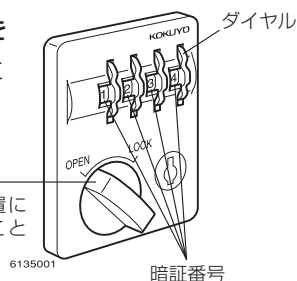
1.扉を開けて、ツマミが「OPEN」位置になっていることを確認し、スリットをコインなどで回して「FREE SET」に設定してください。



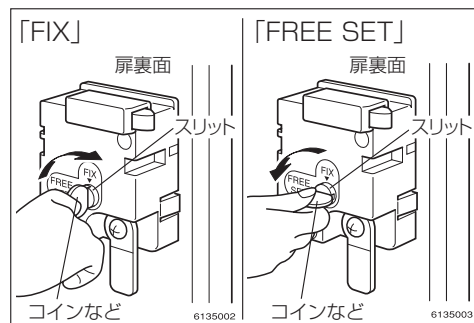
2.任意の暗証番号(4桁)を、ダイヤルを回して表示窓に出してください。

(例) 暗証番号を
1234に
セット

ツマミ
「OPEN」位置に
なっていること
を確認



3.扉を開け、スリットをコインなどで回して、暗証番号の設定方法(前項「1.暗証番号の設定方法について」参照)を選んでください。



4.扉を閉めて、ツマミを「LOCK」位置に回してください。「FREE SET」の場合は、ツマミを「LOCK」位置に回すと、表示窓の数字が暗証番号として設定されます。

※ツマミが回らないときは、ダイヤル数字を合わせた位置がズれています。数字をそろえてください。

〈ご注意〉

ツマミに無理な力を加えて回さないでください。ツマミが破損する原因になります。

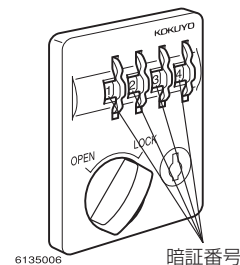
5.ダイヤルを回して、暗証番号以外の数字にしてください。これで扉は施錠されます。

△注意

ダイヤル錠を使用しないときでも、ツマミを「LOCK」位置にしてください。

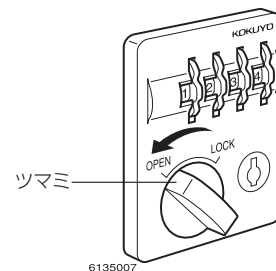
③ 扉の解錠(開けかた)

1.ダイヤルを回して暗証番号の数字を、表示窓に出してください。



2.ツマミを「OPEN」位置に回してください。これで扉が解錠されます。

※ツマミが回らないときは、ダイヤル数字を合わせた位置がズれています。数字をそろえてください。



〈ご注意〉

ツマミに無理な力を加えて回さないでください。ツマミが破損する原因になります。

3.扉を開けてください。

※そのままの状態(ダイヤル数字をさわらない)で、扉を施錠すると、同じ暗証番号が設定されます。

※暗証番号の設定方法を「FREE SET」にしている場合は、次回の施錠時に暗証番号を変更できます。

④ 設定方法の変更のしかた

使用中で設定方法を、「FIX」から「FREE SET」または、「FREE SET」から「FIX」に変更するときは、以下の手順で行ってください。

「FIX」(固定) …任意で決めた1つの暗証番号でのみ、扉の施錠・解錠ができます。設定方法を変えないと、暗証番号の変更はできません。

「FREE SET」…施錠時に暗証番号を任意で(自由変換) 変更することができます。

〈「FREE SET」から「FIX」にする場合〉

- 1.ツマミが「OPEN」位置(解錠状態)になっていることを確認してください。
- 2.任意の暗証番号(4桁)を設定してください。
- 3.②ページ「3」の要領で、「FIX」に設定してください。

〈「FIX」から「FREE SET」にする場合〉

- 1.ツマミが「OPEN」位置(解錠状態)になっていることを確認してください。
- 2.②ページ「3」の要領で、「FREE SET」に設定してください。
- 3.任意の暗証番号(4桁)を設定してください。